

I 調査概要

1 調査の概要

1-1 調査の目的

県民の生活及び意識の実態を把握し、和歌山県男女共同参画推進条例第7条に定める基本計画の改定に当たっての基礎資料とする。

1-2 調査の方法

(1) 調査対象

和歌山県内在住の20歳以上の男女各1,500人（平成22年4月1日現在）

(2) 調査期間

平成22年7月30日（金）～8月20日（金）
（催促文書は8月17日に1回発送）

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

1-3 回収状況

今回の調査は、3,000人を対象に調査票を郵送した。回答があった調査票のうち、「拒否（白紙回答を含む。）」などの無効調査票（6票）を除いた有効回収調査票は1,248票であり、有効回収率は41.6%であった。

発送数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
3,000	1,254	6	1,248	41.6%

※参考（前回の回収状況）

発送数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
3,000	1,231	6	1,225	40.8%

2. 調査の内容

調査項目	質問項目
1 基本的属性	性別、年齢、家族構成、結婚の有無、職業、居住地域
2 男女平等意識	男女の地位の平等感 男女の決められた役割分担についての考え
3 結婚・家庭生活	結婚に対する負担感の有無・負担の内容 仕事と家庭に関する本来あるべき男女の役割分担 あるべき男女の役割分担について、そう考える理由 実際の家庭での役割分担 家庭での介護の担い手
4 子育てや子どもの教育	理想の子どもの人数、実際の子どもの人数 子どもの減少の理由についての考え 子育てについての考え 男女平等教育をすすめるために学校に期待すること
5 就労	女性の理想の生き方・実際の生き方 働いている理由 働く場で男女が平等でないと思うこと 就労意向の有無・希望する就労形態・就労の際に気がかりなこと 男女が対等に働くために必要なこと ワーク・ライフ・バランスの認知度 ワーク・ライフ・バランスを図るために必要なこと
6 社会活動、地域活動	現在参加している社会活動、地域活動 社会活動、地域活動を行う上で、問題になると思うこと 防災・災害対策で女性に配慮する必要があること
7 人権、DV（配偶者等からの暴力）	女性の人権が尊重されていないと思うこと 暴力と思う行為 配偶者や恋人からの暴力の経験 暴力を受けた時期 実際の相談先 相談しなかった理由 実際に求める支援 配偶者や恋人からの暴力についての相談窓口として知っているもの セクシュアル・ハラスメントだと思うこと メディアにおける性や暴力表現についての考え 性犯罪や配偶者からの暴力をなくすために必要なこと
8 男女共同参画施策	男女共同参画の言葉についての認知度 役職、公職の就任や立候補依頼への対応 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと

3. 報告書における表及び図の見方

- (1) 図表の中で「N」とは、集計対象総数（集計対象を限定する場合はその該当対象数）を表している。比率は原則、各項目の無回答・不明を含む集計対象総数に対する百分比（%）で表わしている。（例外は図表外に注意書きで記載）
- (2) 百分比（%）は、原則として小数第2位を四捨五入し小数第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- (3) グラフのスペースの都合上、0%を表示していない場合がある。
- (4) 図表中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。
 - ・ 2 L A %（2 Limited Answer）＝回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
 - ・ 3 L A %（3 Limited Answer）＝回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・ MA %（Multiple Answer）＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合なお、複数回答を依頼した質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (5) 百分比（%）どうしの比較における差は、原則として「…ポイント」という表現とした。
- (6) 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢を短縮している場合がある。
- (7) 調査結果にある全国調査比較の全国調査とは、平成21年10月に内閣府によって行われた「男女共同参画社会に関する世論調査」のことを指す。同様に前回調査比較の前回調査とは、平成18年7月～8月にかけて和歌山県が実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」、前々回調査とは、平成14年7月～8月に和歌山県が実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」のことを指す。
- (8) 調査結果の考察文中にある二重括弧（『・・・』）は2つの選択肢を総合したことを表す。（例：「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」→『肯定的意見』）
- (9) 性年齢別、結婚の有無別、職業別、居住地域別分析の図表では、それぞれ性別不詳、結婚の有無不詳、職業不詳、居住地域不詳の者がいるため、「回答者の属性」の数値と異なる場合がある。